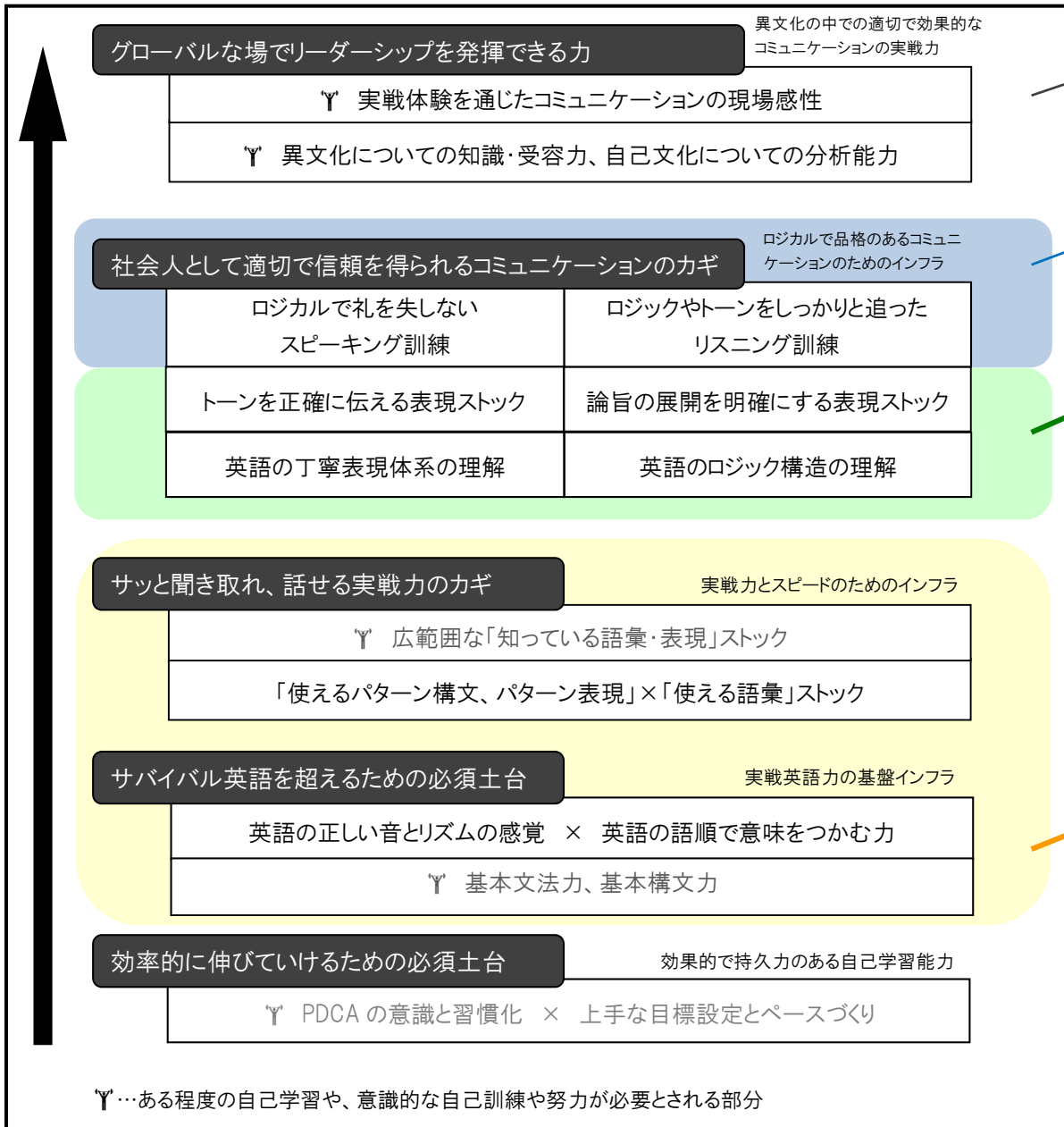


英語コミュニケーション力の全体像と K/Hシステム 一般公募講座の位置づけ

本格的な英語コミュニケーション力を養成するために必要不可欠な学習要素の全体マップと、一般公募講座で強化する内容との関係を示しています。



上級 フェローシッププログラム
 長期リピーターの継続学習をサポートする目的で、月1回、4ヶ月のコースを実施しています。K/Hシステムの方法論と学習視点を理解し、中級コースの訓練を体験した方が、一段上の英語コミュニケーション力を総合的に強化するコースです。

中級 リスニング強化コース (春)
中級 スピーキング強化コース (秋)
 内容を正確に聞き取り、かつ伝えるための高度な英語力の養成を目指し、両コースで学習した視点を、確実に運用レベルに引き上げる訓練を行います。「高度な構文力」と「ロジック」の強化が、上級レベルへの飛躍のカギを握ります。

柱2 K/Hシステム ビジコミ強化 コアコース
「社会人の英語コミュニケーション力強化」
 英語文化に即した「ロジック(話の組み立て方)」と「社会人の英語(英語の配慮表現)」を軸に、英語文化のなかで、説得力のあるコミュニケーションができる力を目指します。英語力そのものを越えて、グローバルな職場環境で仕事力を発揮し、より質の高いコミュニケーションをはかるための視点、コツ、注意点、具体的表現などを、実践練習を通して学びます。

ただ一方で、英語力がある程度上がってきても、英語文化のなかで、礼を失することなく、かつ意思を正確に伝える「英語の社会人のコミュニケーション」のポイントを知らないために、多くの日本人駐在員が苦勞をしてきました。それが2本目の柱で学ぶポイントです。

K/Hシステム学習法の2本柱

柱1 K/Hシステム 英語力強化 コアコース
「正確性とスピードを兼ね備えた英語力の強化」
 音だけが頼りの「実戦」で、「瞬発力」と「正確性」の両方を兼ね備えたリスニングができる力を目指します。「瞬時に、しかも正確に」英語を捉えるために必須の学習視点を学び、かつそれらを身につけるための実践的な学習方法を体験します。本格的な英語コミュニケーションには不可欠な、継続的な英語力の底上げのための視点と方法論を、まず学びます。